

系統的保育案の實際解説 (一)

生活訓練	倉橋惣三
誘導保育案	菊池ふじの
唱歌遊戯	村上露子の
談話	新庄よしこ
觀察	小島光子
手技	及川ふみ

『系統的保育案の實際』は、東京女子高等師範學校附屬幼稚園の編になり、日本幼稚園協會から發行せられてゐる。昨年七月以來、既に多大の部數が、全國保育界に普遍し、熱心なる保姆諸君によつて、研究せられ又實施せられてゐる。しかも、此の保育案は、舊來の諸保育案、殊に單なる羅列的保育要目と全く異なり、幼稚園保育の本義に立脚して、幼児の生活に出發し、生活に歸着する、生活系統としての新らしき保育案であるところから、その實施に於ても新らしい研究を必要とする。又、本保育案の各項に就て、尙ほ進んで詳細なる解説を求められることが尠なくない。本稿は、それ等の要求に對して同人相促し、分擔して各項の解説を試みたものである。説いて詳細を盡さないのは素より、私案私説、極めて熟せざるどころが多いのを恐れる。たゞ、保育案の表示のみにては一層盡さざるを思ひ、こ

れが理解を助け、實施上の便を加へ得んことを希ふてゐるのである。

尙ほ念のため附言するが、本保育案の本質的中心をなすものは、各項の内容よりも、保育案そのものゝ立て方にあり。内容の選擇排列も亦、一々意を用ゐたところであるが、保育案としての根本の建て前を離れては、保育としての活きたる意味が失はれる。従つて、『系統的保育案の實際』を絶えず傍に置かれることなくしては、本解説は正しき用をなすことを得ないであらう。

年少組第一保育期

——満四歳から満五歳——

生活訓練

第一週

生活訓練は、幼児の生活によき習慣をつけることである。その生活は、家庭内のもは素より、社會生活にまで及びたい。しかし、幼稚園で實際に習慣づけ得るものは、幼稚園内の生活である。生活訓練が先づ、斯うした目の前の身邊のこゝから始めらるべきは當然である。但し、その訓練

効果は決して幼稚園内に止まるものではない。たゞせば、幼稚園で食事前^に手を洗ふ習慣が眞^についた時、家庭でもそうしないではゐないであらう。又、幼稚園で庭の植物を大切にすることが眞^に習慣づけられた時、公園でも同じことである筈である。習慣は、その子につくもので、或る場所や或る時に限られるべきものでない。若しそうだった